

- 1面 被災地に行ってきました
2面 議会で質問しました / 議会豆知識
3面 委員会質問 / 議会を終えて
4面 活動報告 / お知らせ / どころこんクン

不安と孤立を見捨てない石坂わたるの たつこの通信



http://ishizakawataru.net/ twitterID : @ishizakawataru

編集・発行：共生中野

〒164-0014 中野区南台2-51-7-305 TEL:03-6304-8758 E-mail:09wishizaka@mbr.nifty.com

【中野区議会】〒164-8501 東京都中野区中野4-8-1 TEL:03-3228-8874(無所属控室)

ごあいさつ



おかげさまで中野区議会議員になってから半年が経ちました。この間、集中豪雨や台風によって、区内でも浸水や倒木などの被害が出ました。

日頃の支え合いと緊急時の援護が機能する、地域づくりの大切さを感じました。

第3回定例会では、高齢者や障がい者、妊婦、乳幼児などが利用する災害時避難場所のバリアフリー化のための検証を行ってほしいと要望をしました。区では今後必要な検証を行っていくとのこと。また、公益活動団体の育成についても質問をしました。そして、11月30日にNPOプレゼン力育成講座※が行われることになりました。

今後とも支援とご協力をよろしく願います。

石坂わたる

(※) 詳しくは、中野区報の11月5日号をご覧ください。

被災地支援に行ってきました

8月に中野ボランティアセンターの災害ボランティア登録者として東松島市へ、東京都行政書士会の被災地支援として石巻市へ行ってきました。それぞれ側溝の泥かきや、津波で水没した車の手続きをお手伝いしました。また、東松島市内の被災状況を見たり、仙台市や石巻市で地元の方からお話をうかがったりする機会もありました。

被災地では、ホームが割れて段差ができ、駅舎の柱が倒れ、歪んで曲がった線

路を覆い尽くさんばかりに夏草が生えている駅や、未だに水没している道路がありました。また、地震の揺れで電子レンジが飛んできたという話や、避難所となった学校の様子についての話などもうかがうことができました。

今後、中野区が大きな地震に襲われた場合に、どういったことが起こるのか、その際に今回の経験を踏まえた対策をどう考えるのかといった視点で区政に取り組んでまいります。



学校給食の 食材産地について

福島原発の事故を受け、給食の食材産地や放射線検査についての関心が高まっています。「ただちに健康への影響はない」との見解が発表されていますが、放射線の影響を受けやすいといわれる子どもにとって、毎日のように食べる給食の安全性は大きな問題です。

独自の基準を設けたり検査体制を作ったりという対応を進める自治体もありますが、中野区では現在在区による一括管理はされていません。

中野区立小中学校の給食は、学校によって給食提供事業者が違いため、食材の産地については、学校を通じてご質問ください。

また、第3回中野区議会定例会に給食から受ける子どもの内部被ばくを防ぐ対策について陳情書が提出されており、区内での食材検査体制の整備や食材の産地公開など、求められる対策については、継続審議となりました。



中野災害 対策情報



● 災害要援護者の救援制度をご活用ください

災害発生時に自力で避難することが困難な高齢者や障がい者に事前に登録していただき、地域の防災会が救援や支援にあたるしくみです。

対象となるのは、自力で避難することが困難な65歳以上の高齢者と障がい者(知的・身体・精神)、難病の認定を受けている方です。

区役所の防災担当か、すこやか福祉センターで相談・登録を。(高齢者の場合は地域包括支援センター、障がい者の場合は区役所障害福祉担当でも対応可能です。)

第3回定例会（9月27日～10月28日）

総括質疑

避難所となる学校の バリアフリー化を！

石坂 災害時には、高齢者、障がい者、乳幼児など災害時要援護者は十分な救援を受けるために2次避難所に避難しますが、2次避難所開設までの一定期間は学校に開設される通常の避難所へ避難する。

中野区では学校によってバリアフリー化の状況に差がある。一斉の大幅改修は難しいが、取り外し可能なスロープや手すり、立ち座りをしやすいポータブルトイレなどを、当事者のニーズを検証し、備えていくべきでは？

佐藤都市基盤部副参事（防災・都市安全担当） 対応を図っていくかねばならないことは重々認識している。今後検証等から行っていくと考えている。

石坂 だれもがライフステージの中で自身や家族が要援護者となる可能性を持っている。要援護者の対応は、すべての区民の健康と命を守ることもある。検証を進め、対策に活かしていきたい。

すべての子ども のための児童館に！

石坂 児童館・U18プラザにおいて、利用者の数は増えているか？

大橋北部すこやか福祉センター副参事（地域ケア担当） 21年度に比べ22年度では、乳幼児親子・高校生は増加したが、小中学生の来館は減少した。

石坂 障がい児の利用状況については？

野村地域支えあい推進室副参事（地域活動推進担当） 障がい児も日常的に利用したり行事に参加している状況がある。

石坂 障がい児にとつて、同じ地域の人とともに過ごす場を保障していくことが必要だと考える。児童館はすべての子どもが同じところで遊べる貴重な場であり、子ども達の心身や社会性の発達にもつながる。障がい児が参加しやすい企画をきっかけに平常時からの利用を伸ばしていくことが必要だと思う。

子どもは一人ひとりユニークな存在であり、一人ひとり違うのが当たり前であることを前提に、個性を活かしながら協力、協調し、すべての子どもを包み込むインクルージョン※の実現を。大橋 障がい児の児童館利用のきっかけとなる行事は、障がいをもたない子ども達やその保護者の理解を得る場としても貴重な機会と考える。お互いの理解が深まっていくよう配慮していく。

（※）インクルージョン：人々が自分らしさを尊重されながら、対等に関わり合い、参加している状態。

特別委員会

地域支えあい推進

特別委員会（9月7日）

石坂 地域支えあい推進の登録制度について、（他に先駆けて開始される）8町会だけでなく、それ以外の町会に住んでいる障がい者についても周知徹底をしてもらいたい。

野村地域支えあい推進室副参事（地域活動推進担当） 第2回目の名簿作成を2月に予定しており、8町会を除いた全区域についても通知を行う予定。

常任委員会

第3回定例会中の決算特別委員会子ども文教分科会や、子ども文教委員会では、乳児と親のための授乳やおむつ交換のためのスペースづくり、新たにつくられる特別支援教育巡回指導員のしくみや、肢体不自由児のための介助員のスキルの確保などに関する質問を行いました。詳細は次号のたつのこ通信第3号で報告いたします。



定例会を終えて

当選後2回目の定例会となりました。今回は一般質問や総括質疑において、平常時や災害時のバリアフリー化などについて様々な党派から多くの議員が取りあげていました。

日頃から街のバリアフリー化や地域で支えあう素地をつくることで、障がい者や高齢者、妊婦などの要援護者はもちろんのこと、被災によって怪我をした場合などにも、災害時の不便をより少なくすることができそうです。ここで長く暮らしていけると考える中野区にしていきたいですね。



第3回定例会（9月27日～10月28日）

本会議 一般質問

障がい者の生活の質を 高める就労支援を！

石坂 障がい者の職場の確保と、障がい者に対する理解ある職場を増やしていく必要について、区のお考えは？

区長 企業の誘致や支援を通じて障がい者の雇用を拡大している。障がい者雇用について区報等で広く紹介すること、理解促進を図っていききたい。

石坂 国や東京都では、障がい者が一般雇用に向けて経験を積む『チャレンジ雇用』を推進し、杉並区や港区でも、事務補助や軽作業などを知的障がい者が行っている。中野区ではどのような取り組みを行っているか？

区長 障がい者が仕事を体験する実習を実施しています。また区の役務等を障がい者就労施設に発注し、支援と就労の場の拡充に努めている。

石坂 東京都ではH1Vによる免疫機能障害での障害者手帳の所有者が平成22年度末に四万六十一人を数えています。中野区にも相当数の該当者が住んでいると推測されるが、H1V陽性者・免疫不全障がい者の福祉・就労などを相談できる窓口拡充と積極的な広報が必要では？

区長 適切に対応していきたい。就労支援が必要な方に障害者福祉事業団を活用していただけるように区報等で周知をしていく。

地域の活動団体を つなげよう！

つなげよう！

石坂 現在、法人・ボランティア組織、町会・自治会など、区民が主体的に活動し支え合うまちづくりが進められている。情報交換や交流、連携が必要だと思われるが、今後の計画と方針は？

地域支えあい推進室長 区民活動センターを通じ連携の促進を行っている。また、NPOと町会や企業との交流の場として、区で交流会を主催しているが、今後さらに工夫をしていきたい。

石坂 行政と各団体との連携についてはどう考えているか？

区が積極的に組織や人材を育てていかなければ、実のあるものにならない。また、活動の推進には、区民に存在や活動を知ってもらうことが必要。公益活動団体等に関する広報の在り方については？

地域支えあい推進室長 業務委託提案制度の開設から6年が経過し、5年間で採択された提案は24件中2件。今後は団体の提案企画力の向上を図るよう取り組み、区職員の協同に関する意識改革を進めるなど実効性のある制度として構築していきたい。

区のHPで認証NPO法人の活動内容を紹介している。今後はイベント情報も紹介できるよう準備を進める。NPO交流会や講座では、団体の活動紹介の手法や活動人材確保の手法などを取り入れて企画をしていく。

区議会ってなあに？

区議会 豆知識

その1

地域社会のいろいろな問題について解決するために、区民の代表として選ばれた区議会議員が住民に代わり、様々なことを定期的に話し合い、幸せに暮らせる街づくりを進めます。

本会議

議員全員が本会議場に集まって会議をします。中野では2月、6月、9月、12月の年4回定例会が開かれます。一般質問などの形でそれぞれの議員が区内の問題点を指摘したり、改善策などを提案し、話し合います。

委員会

専門的・能率的に審査するために分野ごとにより深い話し合いをします。石坂わたるは常任委員会として子ども文教委員会に所属しています。また、特別委員会として、地域支えあい推進特別委員会に所属しています。

総括質疑

決算特別委員会と予算特別委員会において、年に一度ずつ、議員から区のお金の使い方に関する質問を行います。

議会の傍聴してみよう！

区議会議員のこのような話し合いは、どなたでも(子どもでも)見学することができます(「傍聴」といいます)。どんなことが話し合われているか、ぜひ傍聴してみてください。実際に議会で発言する姿を見れば、選挙演説だけではわからない議員の考えもわかります。本会議の様子はシティテレビ中野でも一部放送されています。

被災地での経験を 中野で活かしたい！

石坂 需要と届けられる支援がミスマッチをしている事例が数多くあると被災地で聞いた。こうした支援受け入れの準備やしきみづくりを考えるうえで、各組織・個人の経験は欠かせない。被災地に派遣された区職員、被災地支援を行った区内団体などのスキルを中野の防災に今後どのように活かすか？

区長 貴重な経験やノウハウを中野の防災に活用するため、社会福祉協議会、民間団体と連携して体制作りに反映できるように検討を進める。

石坂 災害時には、災害時要援護者の状況を把握し、助け合いのネットワークにつなぐ人を育てることが必要。区の総合防災訓練では、障がい者当事者団体が区民との交流を行ったが、災害時要援護者に配慮ができる人を育成していくためにも、防災会ごとに行われる防災訓練の際に障がいを持つ当事者と連携した訓練を実施するよう区から情報提供を行うべきでは？

区長 訓練内容の実施例として積極的に情報提供を行ってまいりたいと考えている。



みんなをつなぐ

石坂わたるの活動報告

きず菜ちゃん試食会・収穫に参加

9/2・10/2

Pick Up!

中野区役所の屋上緑化見本園の片隅では、春から秋にかけて「きず菜ちゃん」という葉物野菜(市場では「空心菜」という商品名で流通)をNPO法人グリーンサイエンスが中心となり水耕栽培しています。9/2にはNPO法人障害者の就労を進める会そらが運営する「きっちんそら」で、きず菜ちゃん試食会に参加し、炒め物やスープ、チヂミなどをおいしくいただきました。きず菜ちゃんはビタミンやミネラルなどが豊富だそうです。

屋上緑化見本園は平日午前9時から午後4時まで見学できます。事前に緑化推進担当(03-3228-5554)へ電話予約をしてください。



中野区総合防災訓練ボランティア参加

8/28

Pick Up!

総合防災訓練にて障害者防災委員会による障がい者とのふれあいコーナーのボランティアをしました。視覚障がい者や知的障がい者の誘導體験、手話の体験、車いすの体験などができるこのコーナーにて、精神障がい者の対応などをしました。また、三角巾を使った止血の体験や、災害用トイレの見学、非常食の試食などをさせていただきました。

いざという時に備えて模擬訓練を重ねておくことの大切さや、日頃の対策を見直すことの必要性を強く感じました。



中野どらもん vol.02

作:ドルショック竹下



学習会・交流会を開催します

学習会「発達障がいと生涯支援」

講師 片山 知哉 医師(横浜市総合リハビリテーションセンター発達精神科医師)

発達障がい者の子どもから大人への移行を踏まえた支援について片山医師にお話いただきます。学習会後、15:00 前後から中野区について話し合う交流会を行います。

途中入場可 予約不要

日時: 11月27日(日) 13:30~16:00

場所: 桃園区民活動センター(共生中野で部屋をとっています)

参加費: 100円(資料・お茶・お菓子代)

控室情報: お話をうかがいます

中野区議会内では、無所属議員控室にあります。ご相談・ご意見をうかがいますので、お電話、メールでの在室確認の上、お気軽にいらしてください。

お知らせ

● ボランティアを募集しています

中野区内でたつご通信の配布をお手伝いしてくださるボランティアを募集しております。ご自宅のお近くだけでもかまいません。ご協力いただける方はお電話・メールなどでご連絡ください。

● メールニュースのご案内

石坂わたるの議会質問の日程やイベント参加のお知らせをメールニュースで配信しています。ご希望の方は下記アドレスまでメールでお申し込みください。
09wishizaka@mbr.nifty.com

- 7/21 中野区障害者福祉事業団(ニコニコ事業団)主催の「納涼の集い」に参加
- 7/23 第31回中野特別支援学校夏まつりふれあい盆踊り大会に参加
- 7/24 区内在住の成人知的障がい者のためのいずみ教室にスタッフとして参加
- 7/28 宮園高齢者会館でのびのび広場にて夏体験ボランティア
前原町会盆踊り練習に参加
- 7/29 南中野保育園にて夏体験ボランティア
弥生高齢者会館の夏祭りに参加
- 7/30 「被災障害者支援をどうするー東日本大震災被災障害者支援から考える」を共生中野として共催
- 7/31 障害者の自立と政治参加をすすめるネットワーク研修会に参加
- 8/4~5 中野区主催こども科学教室自然体験コースにスタッフとして参加
- 8/6 成蹊教育研究懇話会に参加
- 8/9~11 中野ボランティアセンターの災害ボランティアとして東松島にて被災地支援
- 8/18 全国若手市議会議員の会 研修会に参加
- 8/23 仙台市にある「community center ZEL」(HIV/AIDSの情報発信を目的としたコミュニティセンター)の視察
- 8/24 東京都行政書士会の行政書士として、石巻市役所にて津波による被災自動車廃車手続きの支援
- 8/27 川島商店街の川島夜店市
- 8/28 中野ゼロで行われた内部被ばく勉強会に参加
- 8/30 中野区障害者地域自立生活支援センターつむぎのセミナーに参加
- 9/2 区内のNPO法人グリーンサイエンスやNPO法人障害者の就労を進める会そらが行う「きず菜ちゃんを食べる会」に参加。
- 9/3 高齢者会館しんやまの家まつりに参加
- 9/4 石坂わたるの交流会開催
- 9/10 谷戸小学校授業公開見学
- 9/11 前原町会敬老会への参加
- 9/16 北海道立アイヌ総合センター資料室を見学
- 9/17 札幌にてレインボートーク2011にゲストとして参加(翌日の北海道新聞にその様子が掲載)
- 9/18 第15回 レインボーマーチ札幌に参加、パレード後のプライド集会にてスピーチ
- 9/19 堀江高齢者センター堀江祭に参加
- 9/20 中野区生涯学習サポーターの会参加
- 9/22 コープとうきょう中野コープ会プラスミーティングに参加
- 9/23 江古田の森まつりに参加
- 10/2 花と緑の祭典に伴う中野区役所屋上緑化公開を見学、きず菜ちゃんの収穫に参加
- 10/8 中野区立小学校PTA連合会コーラス発表会に谷戸ほのぼのFamily合唱団の一員として参加・合唱
- 10/9 南中野地区まつりに参加
- 10/10 外国人のための防災訓練を見学
- 10/15 障害者福祉会館まつり
障害者施設コロニー中野のコロニー祭を見学
- 10/16 南中野地区運動会来賓
かみさぎまつり、障害者施設かみさぎこぶし園こぶしフェスティバルに参加
- 10/17 立教大学にてコミュニティ政策研究会
- 10/22 第十中学校授業公開見学
セクシュアルマイノリティの自殺予防を考えるシンポジウムに参加
- 10/23 南台ヒルズ防災会の防災訓練に参加